

# 小樽商大緑丘新聞

創刊日 1910年7月10日  
発行所 小樽市緑丘1-10-10  
電話 21100  
定価 100円  
購読料 1000円

## 開学50周年記念 特別号

### 創立五十周年を迎えて

田中昭徳

# 「大学」としての小樽商科大学は



大学の創立五十周年を迎えて、その歴史を振り返ると、その歩みは決して平坦な道ではなかった。戦前、戦中、戦後、それぞれの時代背景の中で、大学は常に社会の発展と個人の成長のために奮闘してきた。特に戦後、民主主義の精神が根付いたことで、大学は単なる知識の伝達場から、社会の批判と改革の場へと変化した。小樽商科大学もこの流れの中で、商学と人文の融合を目指して歩んできた。その結果、今日の小樽商科大学は、地域社会に貢献する人材を育成するだけでなく、国際化と先端技術の研究においても重要な役割を果たしている。

## 「大学の自由」と「一般教養の充実」は 大学の生命 「国民への奉仕」の必須条件



大学の自由と一般教養の充実は、大学の生命であり、国民への奉仕の必須条件である。戦前、戦中、戦後、それぞれの時代背景の中で、大学は常に社会の発展と個人の成長のために奮闘してきた。特に戦後、民主主義の精神が根付いたことで、大学は単なる知識の伝達場から、社会の批判と改革の場へと変化した。小樽商科大学もこの流れの中で、商学と人文の融合を目指して歩んできた。その結果、今日の小樽商科大学は、地域社会に貢献する人材を育成するだけでなく、国際化と先端技術の研究においても重要な役割を果たしている。



## 新教育

新教育の概念は、単に知識の伝達ではなく、個人の成長と社会への貢献を重視するものである。戦前、戦中、戦後、それぞれの時代背景の中で、大学は常に社会の発展と個人の成長のために奮闘してきた。特に戦後、民主主義の精神が根付いたことで、大学は単なる知識の伝達場から、社会の批判と改革の場へと変化した。小樽商科大学もこの流れの中で、商学と人文の融合を目指して歩んできた。その結果、今日の小樽商科大学は、地域社会に貢献する人材を育成するだけでなく、国際化と先端技術の研究においても重要な役割を果たしている。

## 先生の実証主義的統計理論

宮川力夫

先生の実証主義的統計理論は、データの分析を通じて社会の真実を明らかにしようとするものである。戦前、戦中、戦後、それぞれの時代背景の中で、大学は常に社会の発展と個人の成長のために奮闘してきた。特に戦後、民主主義の精神が根付いたことで、大学は単なる知識の伝達場から、社会の批判と改革の場へと変化した。小樽商科大学もこの流れの中で、商学と人文の融合を目指して歩んできた。その結果、今日の小樽商科大学は、地域社会に貢献する人材を育成するだけでなく、国際化と先端技術の研究においても重要な役割を果たしている。



竹内助教授

竹内助教授の統計理論は、データの分析を通じて社会の真実を明らかにしようとするものである。戦前、戦中、戦後、それぞれの時代背景の中で、大学は常に社会の発展と個人の成長のために奮闘してきた。特に戦後、民主主義の精神が根付いたことで、大学は単なる知識の伝達場から、社会の批判と改革の場へと変化した。小樽商科大学もこの流れの中で、商学と人文の融合を目指して歩んできた。その結果、今日の小樽商科大学は、地域社会に貢献する人材を育成するだけでなく、国際化と先端技術の研究においても重要な役割を果たしている。

### 経済学・商学 隆盛の鍵は一般教養

経済学と商学の隆盛は、一般教養の充実にかかっている。戦前、戦中、戦後、それぞれの時代背景の中で、大学は常に社会の発展と個人の成長のために奮闘してきた。特に戦後、民主主義の精神が根付いたことで、大学は単なる知識の伝達場から、社会の批判と改革の場へと変化した。小樽商科大学もこの流れの中で、商学と人文の融合を目指して歩んできた。その結果、今日の小樽商科大学は、地域社会に貢献する人材を育成するだけでなく、国際化と先端技術の研究においても重要な役割を果たしている。

### 形骸化につけこむ資本

形骸化につけこむ資本は、社会の発展を阻害する要因となっている。戦前、戦中、戦後、それぞれの時代背景の中で、大学は常に社会の発展と個人の成長のために奮闘してきた。特に戦後、民主主義の精神が根付いたことで、大学は単なる知識の伝達場から、社会の批判と改革の場へと変化した。小樽商科大学もこの流れの中で、商学と人文の融合を目指して歩んできた。その結果、今日の小樽商科大学は、地域社会に貢献する人材を育成するだけでなく、国際化と先端技術の研究においても重要な役割を果たしている。

### 「国民」に奉仕することの難しさ

「国民」に奉仕することの難しさは、個人の成長と社会への貢献の両方を果たすことにある。戦前、戦中、戦後、それぞれの時代背景の中で、大学は常に社会の発展と個人の成長のために奮闘してきた。特に戦後、民主主義の精神が根付いたことで、大学は単なる知識の伝達場から、社会の批判と改革の場へと変化した。小樽商科大学もこの流れの中で、商学と人文の融合を目指して歩んできた。その結果、今日の小樽商科大学は、地域社会に貢献する人材を育成するだけでなく、国際化と先端技術の研究においても重要な役割を果たしている。

### 祝 開学五十周年

祝 開学五十周年。この機会に、大学の歴史を振り返ると、その歩みは決して平坦な道ではなかった。戦前、戦中、戦後、それぞれの時代背景の中で、大学は常に社会の発展と個人の成長のために奮闘してきた。特に戦後、民主主義の精神が根付いたことで、大学は単なる知識の伝達場から、社会の批判と改革の場へと変化した。小樽商科大学もこの流れの中で、商学と人文の融合を目指して歩んできた。その結果、今日の小樽商科大学は、地域社会に貢献する人材を育成するだけでなく、国際化と先端技術の研究においても重要な役割を果たしている。

<b>祝 開学五十周年</b> (順不同)	<b>緑丘会理事</b> 三井船務株式会社 相談役 佐々木周一 (大正十一年卒業)	<b>台橋株式会社</b> 常務取締役 宮脇音次 (大正十一年卒業)	<b>緑丘会東京支部長</b> 泰和産業株式会社 社長 上村甚四郎 (大正十四年卒業)	<b>公認会計士</b> 池田昇一 (昭和四年卒業)	<b>日本紙業株式会社</b> 取締役 三上茂 (大正十年卒業)	<b>日本製菓株式会社</b> 取締役 森下弘 (大正十四年卒業)	<b>日本炭酒株式会社札幌支店</b> 取締役 穴釜升夫 (大正十二年卒業)	<b>青森商工会議所会頭</b> 青森木材防腐株式会社 取締役 竹中喜一郎 (大正七年卒業)	<b>東北電力株式会社</b> 取締役 高橋文雄 (昭和五年卒業)	<b>有限会社 大青染工所</b> 社長 服部政一 (昭和四年卒業)	<b>株式会社 青和銀行</b> 常務取締役 安達猛 (昭和七年卒業)	<b>株式会社 岩倉組</b> 常務取締役 大友養七 (大正八年卒業)	<b>三菱日本重工業株式会社</b> 取締役 織田淑夫 (大正十年卒業)	<b>税理士</b> 坂東虎市 (大正十年卒業)
--------------------------	--	--	--	----------------------------------	--	---	--	---	---	--	---	---	--	--------------------------------

「証券ブーム」の中心は、証券市場の活性化と、証券会社の業務の拡大にある。証券市場の活性化は、証券取引の増加、証券発行の増加、証券投資の増加を意味する。証券会社の業務の拡大は、証券取引の増加、証券発行の増加、証券投資の増加を意味する。

# 証券ブームの構造と意義

—過少資本がその因—

川合一郎

証券ブームの中心は、証券市場の活性化と、証券会社の業務の拡大にある。証券市場の活性化は、証券取引の増加、証券発行の増加、証券投資の増加を意味する。証券会社の業務の拡大は、証券取引の増加、証券発行の増加、証券投資の増加を意味する。

証券ブームの中心は、証券市場の活性化と、証券会社の業務の拡大にある。証券市場の活性化は、証券取引の増加、証券発行の増加、証券投資の増加を意味する。証券会社の業務の拡大は、証券取引の増加、証券発行の増加、証券投資の増加を意味する。

証券ブームの中心は、証券市場の活性化と、証券会社の業務の拡大にある。証券市場の活性化は、証券取引の増加、証券発行の増加、証券投資の増加を意味する。証券会社の業務の拡大は、証券取引の増加、証券発行の増加、証券投資の増加を意味する。

証券ブームの中心は、証券市場の活性化と、証券会社の業務の拡大にある。証券市場の活性化は、証券取引の増加、証券発行の増加、証券投資の増加を意味する。証券会社の業務の拡大は、証券取引の増加、証券発行の増加、証券投資の増加を意味する。



## 証券ブームの周辺

証券ブームの中心は、証券市場の活性化と、証券会社の業務の拡大にある。証券市場の活性化は、証券取引の増加、証券発行の増加、証券投資の増加を意味する。証券会社の業務の拡大は、証券取引の増加、証券発行の増加、証券投資の増加を意味する。

証券ブームの中心は、証券市場の活性化と、証券会社の業務の拡大にある。証券市場の活性化は、証券取引の増加、証券発行の増加、証券投資の増加を意味する。証券会社の業務の拡大は、証券取引の増加、証券発行の増加、証券投資の増加を意味する。

証券ブームの中心は、証券市場の活性化と、証券会社の業務の拡大にある。証券市場の活性化は、証券取引の増加、証券発行の増加、証券投資の増加を意味する。証券会社の業務の拡大は、証券取引の増加、証券発行の増加、証券投資の増加を意味する。

証券ブームの中心は、証券市場の活性化と、証券会社の業務の拡大にある。証券市場の活性化は、証券取引の増加、証券発行の増加、証券投資の増加を意味する。証券会社の業務の拡大は、証券取引の増加、証券発行の増加、証券投資の増加を意味する。

爽やかな **リフトロン** テイセンリネン混紡 テイジンテロン

- 紳士服・婦人服
- 替ズボン・ブラウス
- プリーツスカート・Vシャツ
- スポーツウェアその他

日立製作所特約店 **大洋電機商事株式会社**

本社 東京都中央区日本橋区本町三丁目一丁目  
支店 東京都中央区日本橋区本町三丁目一丁目  
支店 東京都中央区日本橋区本町三丁目一丁目

山一證券 **山一證券**

証券のある生活を

本社 東京都中央区日本橋区本町三丁目一丁目  
支店 東京都中央区日本橋区本町三丁目一丁目  
支店 東京都中央区日本橋区本町三丁目一丁目

祝 **創立五十周年**

**三菱ふそう自動車株式会社**

本社 東京都中央区日本橋区本町三丁目一丁目  
支店 東京都中央区日本橋区本町三丁目一丁目  
支店 東京都中央区日本橋区本町三丁目一丁目

三井銀行 大島三郎

支店長 大島三郎

共立機器株式会社 川村克治

取締役 川村克治

東海産業株式会社 柳瀬伊蔵

取締役 柳瀬伊蔵

千代田火災海上保険株式会社 手嶋恒二郎

取締役 手嶋恒二郎

株式会社ヒロセ商会 菅井長平

取締役 菅井長平

株式会社越崎商店 越崎宗一

取締役 越崎宗一

三井船舶株式会社 進藤孝二

代表取締役 進藤孝二

### 好況下の底辺



## 闘うハイヤー労働

### 社会の黒い断層

#### あき忘れられた人々

社会の黒い断層、あき忘れられた人々。この断層は、戦後七十年の間に、社会の隅々まで広がっていった。戦後の高度経済成長期には、多くの若者がこの断層を乗り越え、社会の主流へと進出した。しかし、戦後の高度経済成長期には、多くの若者がこの断層を乗り越え、社会の主流へと進出した。しかし、戦後の高度経済成長期には、多くの若者がこの断層を乗り越え、社会の主流へと進出した。

### あくなき利潤の追求

#### いけにえは運転手たち

あくなき利潤の追求、いけにえは運転手たち。この断層は、戦後七十年の間に、社会の隅々まで広がっていった。戦後の高度経済成長期には、多くの若者がこの断層を乗り越え、社会の主流へと進出した。しかし、戦後の高度経済成長期には、多くの若者がこの断層を乗り越え、社会の主流へと進出した。

### 大学の光は遠く

#### いかにこもこんな人が

大学の光は遠く、いかにこもこんな人が。この断層は、戦後七十年の間に、社会の隅々まで広がっていった。戦後の高度経済成長期には、多くの若者がこの断層を乗り越え、社会の主流へと進出した。しかし、戦後の高度経済成長期には、多くの若者がこの断層を乗り越え、社会の主流へと進出した。

この断層は、戦後七十年の間に、社会の隅々まで広がっていった。戦後の高度経済成長期には、多くの若者がこの断層を乗り越え、社会の主流へと進出した。しかし、戦後の高度経済成長期には、多くの若者がこの断層を乗り越え、社会の主流へと進出した。



写真(上) 東部連にある小樽ハイヤーの正面。赤旗が掲げられ、闘争の意気込みが感じられる。

共同の息吹を感じさせるスクラム。この断層は、戦後七十年の間に、社会の隅々まで広がっていった。戦後の高度経済成長期には、多くの若者がこの断層を乗り越え、社会の主流へと進出した。しかし、戦後の高度経済成長期には、多くの若者がこの断層を乗り越え、社会の主流へと進出した。

鉄鎖はちぎられた。あるのは闘争のみ。この断層は、戦後七十年の間に、社会の隅々まで広がっていった。戦後の高度経済成長期には、多くの若者がこの断層を乗り越え、社会の主流へと進出した。しかし、戦後の高度経済成長期には、多くの若者がこの断層を乗り越え、社会の主流へと進出した。



共闘の人間らしい姿で、現代に生きる。この断層は、戦後七十年の間に、社会の隅々まで広がっていった。戦後の高度経済成長期には、多くの若者がこの断層を乗り越え、社会の主流へと進出した。しかし、戦後の高度経済成長期には、多くの若者がこの断層を乗り越え、社会の主流へと進出した。

不断の準備・明るい生活

## 住友海上火災

社長 花崎利義

本店 東京都中央区八重洲二丁目

あなたのASAHIビール

朝日麦酒株式会社

祝 小樽商大 創立50周年

世界のご家庭で愛されている

トヨミニ  
トヨ毛糸編機  
トヨポント  
トヨ洗濯機

愛知工業株式会社  
愛知県 刈谷市

不二製油株式会社

一般食用油・工業用油脂  
肥料及び飼料の製造販売

取締役社長 大 山 捷 男

本社 大阪府東淀川区土筆二丁目二十番地  
東京事務所 東京都中央区新富二丁目八番地  
工場 本 岡 神 戸 豊 橋 各

水道用品の御用命は  
優秀な近代的設備と  
信用ある専門メーカーへ

株式会社 光合金製作所

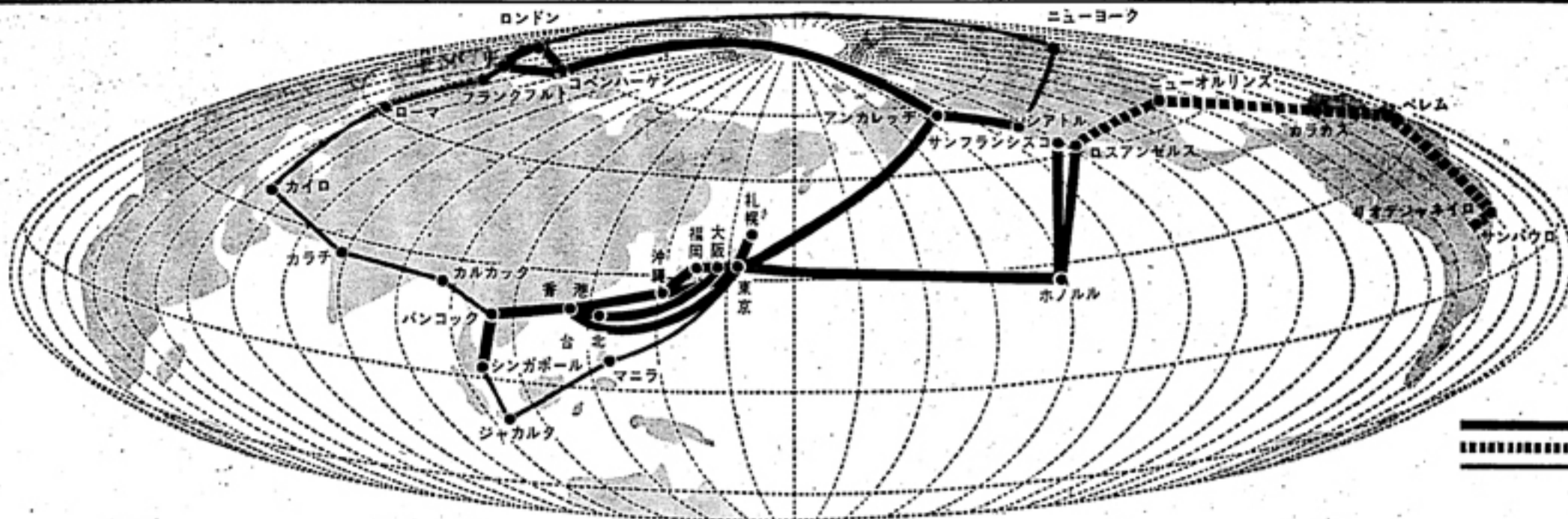
取締役社長 井上良次

本社工場 小樽市堺町9番  
代表電話 011-2135番  
札幌営業所 札幌市北4条西7丁目  
(北沢ビル内)  
電話 011-0742番

新しい生活設計に奉仕する

## 日本生命

大阪府東区今橋4の7

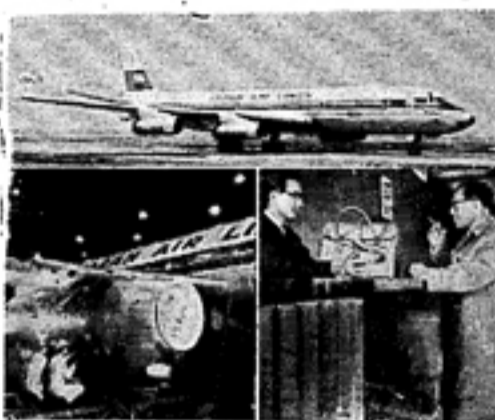


## 世界に飛躍する日本航空!

当社は日本航空株式会社法に基いて国内の輸送及び国際線の定期航空運送事業を行う日本を代表する航空会社です。昭和28年10月1日発足以来、着々とその基礎を確立してきました。現在109億300万円の資本金で世界の各航空会社中10位に数えられるほどの業績をあげその発展は西独のルフト・ハンザと共に世界史的なものであると見られています。

現在定期便に就航している航空機

プロペラ機	
ダグラス式DC-4型機	10機
ダグラス式DC-6B型機	5機
ダグラス式DC-7C型機	4機
ジェット機	
ダグラス式DC-8型機	5機
コンペア 880型機	3機(8月就航予定)



「人」が発展の原動力……

当社は、戦後一時中断されそのための世界の航空界より立ちおくれたわが国の航空運送事業を世界的水準にまで引き上げるため役員員打って一丸となり努力してまいりました。この6月、ついに世界一周路線開設への布石として、待望のヨーロッパ線を一部開設、着々とその準備を進めております。創業10年にして当社をここまで発展せしめた原動力はまさに「人」であります。

●ますます発展する日本航空の将来を背負って立つ、若く情熱の溢れる優秀な人材の入社を心から期待しております。

●ご希望の方にパンフレット「入社案内」をお送りいたします。お申し下さい。

日本の翼 皆さまの翼

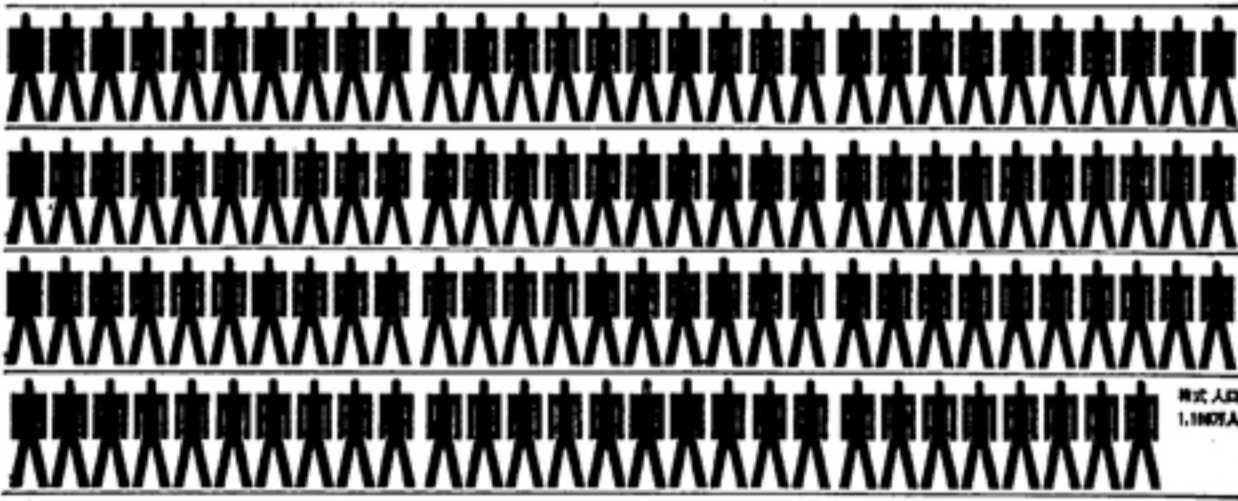
### 日本航空

人事部長 藤原 隆

東京都千代田区丸の内2-3-2 東京ビル8階

支店及び営業所

札幌・大宮・福岡・横浜・名古屋・京都・神戸・サンフランシスコ・ロサンゼルス・ホノルル・シアトル・バンコック・ニュー・ヨーク・ワシントン・ボストン・シカゴ・フィラデルフィア・クリーブランド・アトランタ・ダラス・メキシコ・サンパウロ・リマ・台北・香港・シンガポール・バンコック・マニラ・カラチ・カイロ・カルカッタ・ローマ・ロンドン・パリ・デュッセルドルフ・ハンブルグ・コペンハーゲン



## 大和証券

本店・東京都千代田区大和町2-8 (大和ビル) 電話(3) 7181 代表  
札幌支店・札幌市北三条町3丁目 電話(2) 7181 代表  
小樽支店・小樽市南町4番6の27 電話(2) 3191-7

のべ1,180万の  
株式人口をささえる  
私たち5,500人

社内は著々しいエネルギーで「ばい」

「決してお客さまを忘れてはならない」と同時に「お客さまからも決して忘れられてはならない」と私たちはいつも話しあう。社員として私たちが求められるのは、細心大胆、無比類のない努力と行動力である。強力な金融市場の一環としてたくましく成長する企業の中で、私たちは自己の限界にいく機会を何度となく与えられる。直接投資による長期産業資本の調達と健全な証券市場の発展のために、会社全体が若々しいエネルギーで前進をつづけているからである。

証券業界では、「人が財産」

入社以来、私たちはトレーニング・オン・ザ・ジョブ方式で実地に訓練を受けてきた。一年たつと「中級販売訓練」が、管理者になると「指導者訓練」がある。こうして私たちは押しも押されぬ証券マンに育ってゆく。業界ナンバーワンといわれる完備した厚生施設や、わが国最初の画期的な可変退職年金制度などが、私たちに恵まれた生活と、快適な余暇の利用を約束してくれる。私たちの前途は無限である。これほど私たちが若さと情熱をぶつつけるのにふさわしい企業は少ない。友よきたれである。

証券業界のたくましいバイオニア

●60年の長い伝統

明治35年に誕生以来、大和証券は日本経済の発展とともに、証券業界の主力として大きな足あとを残してきました。昭和8年わが国の投資信託の実質的な先駆者として、大和証券投資組合を設立。戦後にもいち早くオープン投資信託を発売実施するなど、創業以来のバイオニア精神は現在も脈々とつづけています。

●80億円の資本金

産業界金融界において証券会社の占める比重は日に日に増大しています。それと共に大和証券の設備はいよいよ充実し、たびかさなる増資で資本金は現在80億円にも達し、名実ともに業界のトップクラスに立っています。

●100余力所の営業所

顧客の要望にこたえて、全国に支店営業所を増設し、その数は105カ所にも達しました。ニューヨークにも支店を開設、いまなおひろがる需要に「一そうの発展が期待されています」

就職について質問のある方は当社札幌駅前支店又は小樽営業所へおいで下さい

世界に雄飛する  
あなたの  
夢を育てる

●取扱商品 羊毛 綿花 繊維全般 食糧 化粧品 木材 石油 機械 金属 電子



兼松株式会社

取組会社 兼松 兼松

国際羊毛市場のトップを歩みつづけてきた「兼松」は、繊維など日本の伝統的商品のほか、金属 機械 石油 化学 エレクトロニクスなどの新分野に広く活躍しています。今日当社の商品構成は、繊維約40%・非繊維約60%で、年率40%以上の大幅の成長力を示しつつありますが、この発展を支える店舗は、国内に16 海外に35店を布陣し、進出する日本貿易の旗手として世界100余の市場に活躍しています。

このように創業以来72年の伝統と、業界第8位の貿易量と国際的名声のもとに、たくましい躍進をつづける総合商社「兼松」は、近代センスと若いエネルギーの持ち主—あなたが、その力を自由に伸ばして活躍できる絶好の舞台なのです。

### 兼松株式会社

取組会社 兼松 兼松

資本金	12億円
本店	東京都千代田区大和町2-8
大阪支店	大阪府大阪市北区大淀南1-1-1
東京支店	東京都千代田区丸の内2-3-2
名古屋支店	名古屋市中区栄3-1-1
その他支店	70の支店(120)

●海外支店

ニューヨーク サンパウロ ブエノスアイレス シドニー メルボルン クワイアズランド ロンドン ハンブルグ バンコック マニラ ホンコン 台北 その他 各重要都市に23店